

かわしんビジネスweb伝送通知サービス概要 (ファイル伝送「入出金明細・振込入金明細」通知サービス)

1. サービス概要

かわしんビジネスweb伝送通知サービスとは、かわしんビジネスweb（法人IB）を通じて、入出金明細や振込入金明細のデータをパソコンにまとめてダウンロード可能なサービスです。

大量の入出金明細や振込入金明細をデータで取得し、自社システムに反映させたいお客さまや、市販ソフトで売掛金の消し込みや家賃等の入金管理に利用されたいお客さまにお勧めします。

(1) データ形式(出力ファイル形式)

全銀協制定レコードフォーマット(全銀フォーマット)に準拠した下記ファイル形式で受信可能です。

- 全銀ファイル形式
- CSVファイル形式
- XML形式（EDI情報対応）

(2) 契約種類

①入出金明細

ご契約口座の入出金の明細をデータで受信することができます。

②振込入金明細

ご契約口座の振込入金の明細をデータで受信することができます。

(3) 利用可能時間

午前1時から翌午前0時（深夜1時間休止）

※ 入出金明細、振込入金明細とも(以下「入出金情報」)、午前0時までの入出金情報が、午前7時より受信可能となります。

※ 毎週、日曜日午後10時(22時)～月曜日午前7時

及び、毎年1月1日午後9時(21時)～1月2日午前8時はシステムメンテナンスのためご利用いただけません。

(4) データ更新サイクル

1日1回、午前0時までの入出金情報をデータ累積し、午前7時より受信可能とします。

お客さまが、データ受信されるとそれまでの入出金情報は取得済みとなり、翌日から新規未取得の入出金情報のみデータ累積されていきます。(取得済明細を重複通知しないようにしています)

(5) データ保存期間

データ受信されていない未取得明細は累積されていきます。

最大で366日間分累積いたしますが、保存期間経過後のデータは受信できませんので、定期的なデータ受信をお忘れのないよう願います。

(6) オンライン取引との相違点

かわしんビジネスwebの「オンライン取引」で提供する「入出金明細照会」とは異なるサービスです。オンライン取引のCSV形式でのデータダウンロードは独自形式で「全銀フォーマット」に準拠していません。

また、未取得、取得済みの区別はなく何度でも同じ内容が表示されます。

(7) 取得済データの再受信

取得済データの再受信が必要な場合は、当金庫で手続きが必要となります。

データを取得した当日のみ再受信の設定が可能ですので、ご利用の場合は、かわしんヘルプデスクまでご連絡ください。

2. お申込み

「かわしんビジネスweb伝送通知サービス申込書」によりお申込みいただけます。

かわしんビジネスwebのご利用またはお申込みが必要です。

※ ご利用開始までお申込から1ヶ月ほどいただきます。

(1) 利用規定

「かわしんビジネスweb伝送通知サービス利用規定」が適用されます。

(2) 利用手数料

かわしんビジネスwebにおける「ファイル伝送取引」の契約となります。

ファイル伝送取引の手数料が必要です。

(3) 契約種類

「入出金明細」と「振入金明細」どちらかのサービスを選択いただきます。

(4) 申込可能口座

①代表口座としてお申込みいただく口座は、かわしんビジネスwebの契約が必要です。

②代表口座以外で通知を希望される口座(伝送通知サービス利用口座)は、代表口座と同じご契約者の口座(普通預金、当座預金)に限られます。

(僚店にお持ちの口座でも申込可能です)

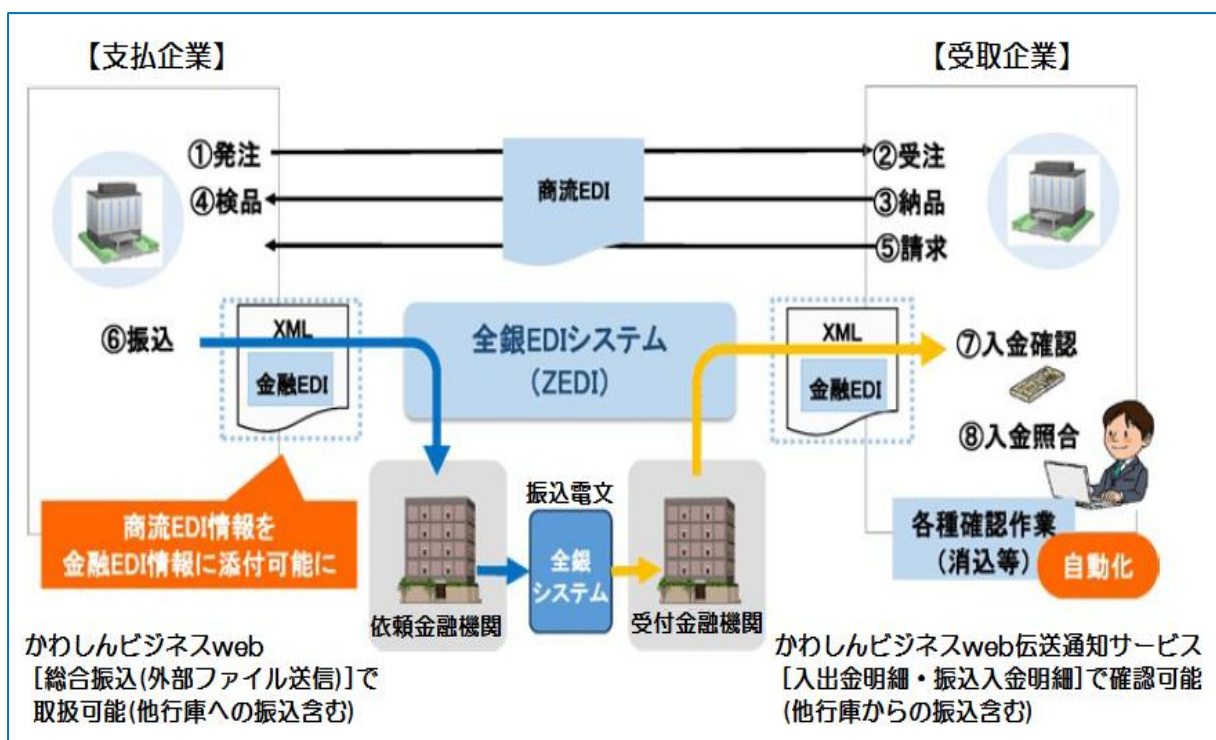
③伝送通知サービス利用口座は、かわしんビジネスwebのサービス利用口座としてお届けされている必要はありません。「かわしんビジネスweb 伝送通知サービス申込書」のみでご契約いただけます。

3. XML電文の取扱いについて

お申込の口座への振込が、全銀EDIシステム(ZEDI) (※1)を経由するXML電文(※2)により手続きされた場合、添付された金融EDI情報(支払通知番号・請求書番号等) (※3)を、XML電文で受信することにより確認することができます。

- ・ 入出金明細、振入金明細それぞれで利用可能です
- ・ 振込依頼人(支払企業)から、XML電文により振込されている必要があります。
- ・ 受取企業は、XML電文で受信することで金融EDI情報を取得できます。

(1) 取引全体のイメージ



①支払企業

支払企業が振込手続きしたXML電文は、「ZEDI」に格納され、「20桁のキー情報」が採番されます。

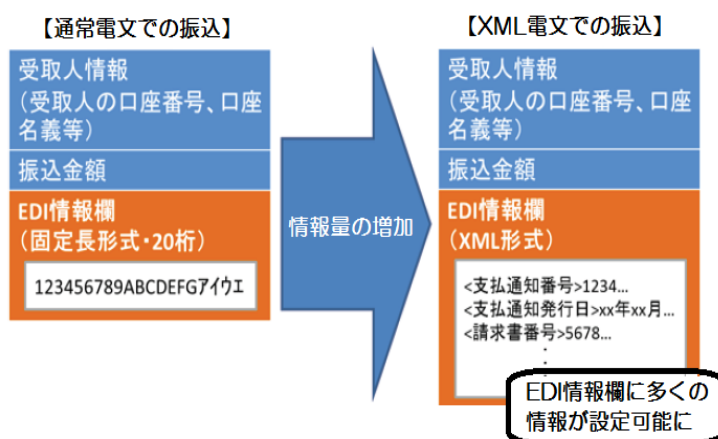
依頼金融機関は、通常の振込電文に「20桁のキー情報」を付与し送信します。

②受取企業

受付金融機関は、口座への振込入金に際し「20桁のキー情報」を付与します。

受取企業が、法人IBで入出金明細または、振込入金明細をXML電文で受信すると、法人IBのシステムは、「ZEDI」にアクセスし、振込情報に付加された「20桁のキー情報」からXML電文を取り出しお客さまへ通知します。

(2) XML電文のイメージ



(3) ZEDIシステムについて

ZEDIは2018年12月25日に稼働を開始しました。ZEDIによって、企業間の振込電文について、固定長形式(※4)から国際標準であるXML形式(ISO20022 ※5)へ移行し、EDI情報を拡充できます。

これまで総合振込の際に送信できるEDI情報は、固定長形式で20桁までと制限されてきました。ZEDIの稼働開始により、総合振込のデータ形式が固定長形式からXML形式に変わり、多くの情報を自由に設定することができるようになりました。

たとえば、XML形式のEDI情報欄には、支払通知番号や請求書番号など、商取引に関する情報(商流情報)を添付可能となります。これにより受取企業側での売掛金の消込作業が効率化されるなど、事務負担の軽減が期待されます。

(※1)ZEDIとは

ZEDI(全銀EDIシステム)とは、支払企業から受取企業に総合振込を行うときに、支払通知番号・請求書番号など、さまざまなEDI情報(※3)の添付を可能とするシステムです。ZEDIの導入によって、入金消込業務の効率化など、企業における資金決済事務の合理化が可能となります。

(※2)XML形式とは

通知する情報の長さ、形式等を自由に変更することが可能な形式です。「Extensible Markup Language」の略称で、「拡張可能なマークアップ言語」と訳されます。

(※3)金融EDI情報とは

EDIは「Electronic Data Interchange」の略称で、「電子データ交換」と訳されます。金融EDI情報とは、振込データに企業間の商取引に関する情報(受発注に関して、支払企業から受取企業に伝達する受発注、出荷、請求、支払いなど、企業間での各種取引情報)を添付されるものをいいます。

(※4)固定長形式とは、電文の長さや情報量が予め定められた電文形式です。

データ処理が容易という利点がある一方、格納できるデータフォーマットや格納できるデータ量が制限されます。

(※5)ISO20022とは、金融通信メッセージの国際規格であり、主にXML形式でデータを格納します。これにより、XML形式のメリットである電文の長さ等を柔軟に設計・変更することが可能です。

以 上